

古賀総合病院 外科ニュース vol.1

当科では、2023年3月より新しい腹腔鏡カメラ(VISERA ELITE III)を導入しました。3Dカメラと4Kカメラの2種類が使用できます。

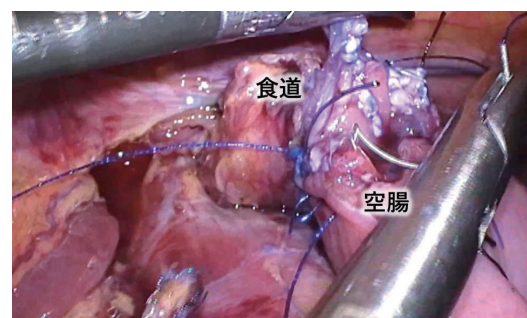
3Dカメラを使用する時は専用の眼鏡を装着します(写真1)。軟性鏡なのでカメラ先端が自由に曲がりあらゆる角度から観察ができます。奥行き(立体感)を感じながら手術ができるため縫合・結紮などがしやすいです(写真2)。

4Kカメラは高画質に加えて、ICG蛍光観察ができます。ICG蛍光観察とはインドシアニングリーンと呼ばれる色素を投与し、その色素と血漿タンパクとが結合することで近赤外線照射によって蛍光を発し、手術中に描出する方法です。腹腔鏡下大腸切除時の吻合(腸と腸をつなげる)前の血流評価(写真3)、腹腔鏡下肝切除時の腫瘍描出(写真4)・肝切除ラインの設定(写真5)、腹腔鏡下胆嚢摘出時の胆管走行把握(写真6)などに使用しています。

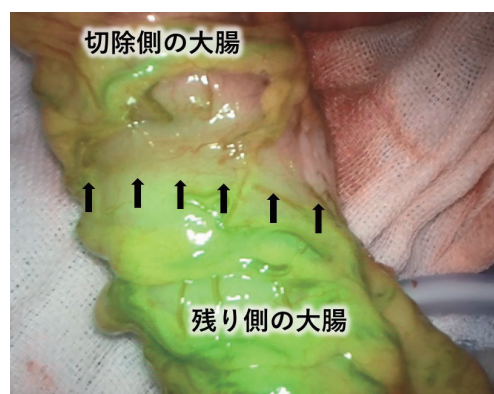
当科では最新の器械を導入して、安全で質の高い手術を提供できるように心がけています。



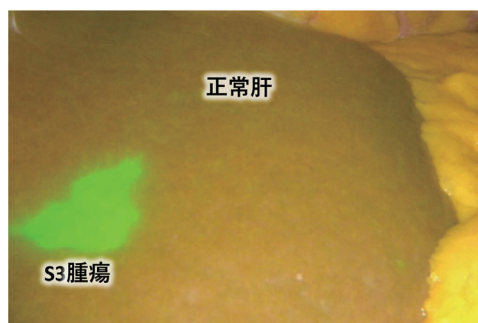
(写真1) 3Dカメラ使用時の手術風景;3D専用の眼鏡を装着して手術を行う。



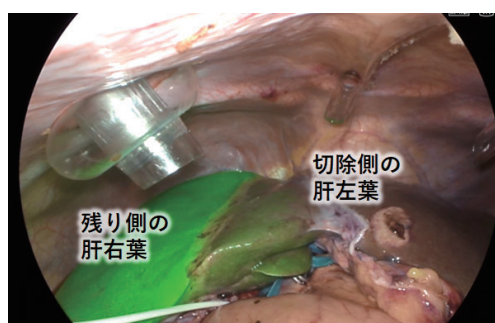
(写真2) 腹腔鏡下胃全摘術の食道空腸吻合(食道と小腸をつなげる);奥行き(立体感)を感じることができ、縫合・結紮が容易にできる。



(写真3) 腹腔鏡下S状結腸切除の口側腸管切離;矢印の部分まで血流が良いことが確認でき、その後の吻合が安全に行える(縫合不全⇒漏れを防げる)。



(写真4) 腹腔鏡下肝部分切除のS3腫瘍の描出;S3腫瘍が光って描出される。



(写真5) 腹腔鏡下肝左葉切除の肝切除ラインの設定;残る予定の肝右葉は光って、切除予定の肝左葉は光らない。



(写真6) 腹腔鏡下胆嚢摘出;PTGBD(術前に挿入した胆嚢ドレナージチューブ)よりICGを注入することで胆管や胆嚢管が光って認識でき、胆管損傷を回避し安全な手術ができる。